



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月28日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社プロシップ
 コード番号 3763 URL <https://www.proship.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 法弘
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 早川 潔 TEL 050-1791-3000
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,255	5.9	740	△27.4	772	△26.2	521	△29.8
2022年3月期第2四半期	3,074	42.9	1,020	78.7	1,046	77.7	742	85.2

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 557百万円 (△25.6%) 2022年3月期第2四半期 748百万円 (77.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	35.68	35.40
2022年3月期第2四半期	48.28	47.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	8,235	5,950	69.7
2022年3月期	13,532	11,336	82.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 5,743百万円 2022年3月期 11,153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	4.6	2,280	3.4	2,310	1.7	1,600	0.5	103.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー 社 （社名）除外 ー 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	15,605,800株	2022年3月期	15,502,800株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	3,300,081株	2022年3月期	2,081株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	14,617,234株	2022年3月期2Q	15,388,735株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による経済への影響が続いていることに加えて、ウクライナ情勢の長期化による原材料価格の上昇や、外国為替市場での円安・ドル高の進行等、先行き不透明な状況が続いております。

情報サービス産業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で、一部の企業にIT投資を控える動きがありましたが、企業による働き方改革、海外グループ会社を含めたガバナンス強化等を背景として、IT投資は堅調に推移してまいりました。

このような状況下で当社グループは、主力である固定資産管理ソリューションにおいて、既存顧客に対する当社新製品へのバージョンアップ対応、インフラ業界における案件推進等、上場大企業や中堅企業の業務効率化、経営管理強化等に資するソリューションを展開し、顧客のシステム投資需要に応じてまいりました。これらの成果により売上高は順調に増加いたしました。成長戦略と位置付けているインフラ業界向けの案件推進等において売上原価が増加し、研究開発活動の活発化や本社移転関連費用の発生等に伴い販売費及び一般管理費が増加いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高3,255百万円(前年同四半期比5.9%増)、営業利益740百万円(同27.4%減)、経常利益772百万円(同26.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益521百万円(同29.8%減)となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

①パッケージソリューション事業

主力の固定資産ソリューションにおきましては、既存顧客に対する当社新製品へのバージョンアップ対応、インフラ業界における案件推進等を行いました。これらの成果により売上高は順調に増加いたしました。一方で成長戦略と位置付けているインフラ業界向けの案件推進等において売上原価が増加し、研究開発活動の活発化や本社移転関連費用の発生等に伴い販売費及び一般管理費が増加いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,210百万円(前年同四半期比7.3%増)、営業利益は723百万円(同27.6%減)となりました。

②その他事業

その他事業におきましては、主に連結子会社である株式会社プロシップフロンティアで行っており、既存顧客の受託開発や運用管理等の対応を行いました。なお、主力であるパッケージソリューション事業へ注力するため、前期にその他事業の一部を譲渡しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は56百万円(前年同四半期比39.2%減)、営業利益は15百万円(同25.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債・純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は6,445百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,353百万円減少いたしました。これは主に自己株式の取得等に伴い現金及び預金が5,333百万円減少したことによるものであります。固定資産は1,789百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が43百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は8,235百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,297百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,841百万円となり、前連結会計年度末に比べ83百万円増加いたしました。これは主に契約負債が367百万円増加し、未払法人税等が213百万円減少したことによるものであります。また固定負債は443百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は2,284百万円となり、前連結会計年度末に比べ88百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、5,950百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,385百万円減少いたしました。これは主に自己株式が、その取得に伴い5,326百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は69.7%(前連結会計年度末は82.4%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,937百万円(前年同期比69.0%減)となりました。当第2四半期連結累計期間の各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は816百万円(前年同期比39.4%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は171百万円(前年同期比2,809.9%増)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出、有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は5,985百万円(前年同期比1,059.7%増)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社では、前連結会計年度末時点で見込んでいる当連結会計年度の売上計上予定の案件を商談の進捗度別に集計・精査して売上高見込とし、予定している投資や過年度の費用発生の推移等から当連結会計年度の費用を見込むことで連結業績予想を作成しております。

2023年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間において経常利益が772百万円と前年同四半期比26.2%減ではあるものの、第3四半期以降は、採算性の高いバージョンアップ案件の更なる増加や、インフラ業界向け案件の品質管理強化等による利益率の挽回を見込んでおります。

以上のことから、2022年5月9日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,271,528	4,937,695
売掛金及び契約資産	1,326,597	1,182,844
仕掛品	121,780	167,412
貯蔵品	584	598
その他	79,043	157,272
流動資産合計	11,799,535	6,445,823
固定資産		
有形固定資産	37,821	80,702
無形固定資産		
ソフトウェア	220,980	216,686
その他	1,067	1,067
無形固定資産合計	222,048	217,754
投資その他の資産		
投資有価証券	1,069,576	1,113,528
その他	404,504	378,161
貸倒引当金	△552	△552
投資その他の資産合計	1,473,528	1,491,136
固定資産合計	1,733,398	1,789,593
資産合計	13,532,933	8,235,417

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	232,000	223,896
契約負債	608,046	975,330
未払法人税等	477,500	263,713
賞与引当金	62,565	182,395
役員賞与引当金	37,000	22,275
受注損失引当金	22,623	13,239
その他	318,121	160,162
流動負債合計	1,757,857	1,841,014
固定負債		
役員退職慰労引当金	109,200	109,200
退職給付に係る負債	329,290	334,319
固定負債合計	438,490	443,519
負債合計	2,196,347	2,284,533
純資産の部		
株主資本		
資本金	648,953	716,084
資本剰余金	642,512	709,642
利益剰余金	9,827,165	9,573,657
自己株式	△1,747	△5,328,017
株主資本合計	11,116,884	5,671,366
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,399	71,883
その他の包括利益累計額合計	36,399	71,883
新株予約権	183,302	207,633
純資産合計	11,336,586	5,950,883
負債純資産合計	13,532,933	8,235,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	3,074,821	3,255,214
売上原価	1,422,381	1,682,468
売上総利益	1,652,439	1,572,745
販売費及び一般管理費	631,502	832,009
営業利益	1,020,937	740,736
営業外収益		
受取利息	13,308	16,468
受取配当金	2,090	3,245
為替差益	1,047	6,514
その他	9,425	5,954
営業外収益合計	25,872	32,183
経常利益	1,046,810	772,919
特別利益		
新株予約権戻入益	4,108	2,562
事業分離における移転利益	39,978	—
特別利益合計	44,087	2,562
税金等調整前四半期純利益	1,090,897	775,481
法人税等	347,970	253,953
四半期純利益	742,927	521,527
親会社株主に帰属する四半期純利益	742,927	521,527

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	742,927	521,527
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,016	35,483
その他の包括利益合計	6,016	35,483
四半期包括利益	748,943	557,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	748,943	557,011

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,090,897	775,481
減価償却費	64,200	77,486
賞与引当金の増減額 (△は減少)	109,849	119,830
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18,188	△14,725
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△14,358	5,029
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	3,198	△9,383
受取利息及び受取配当金	△15,399	△19,714
為替差損益 (△は益)	△1,047	△6,514
新株予約権戻入益	△4,108	△2,562
事業分離における移転利益	△39,978	—
売上債権の増減額 (△は増加)	179,099	143,753
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△18,432	△45,645
仕入債務の増減額 (△は減少)	49,591	△8,103
前受金の増減額 (△は減少)	394,689	—
契約負債の増減額 (△は減少)	—	367,283
その他	△94,025	△131,240
小計	1,685,987	1,250,976
利息及び配当金の受取額	16,369	20,143
法人税等の支払額	△354,120	△454,336
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,348,235	816,784
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△66,286
有形固定資産の取得による支出	△600	△54,503
無形固定資産の取得による支出	△45,294	△60,492
敷金及び保証金の回収による収入	—	9,757
事業譲渡による収入	40,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,894	△171,526
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	20,809	115,360
自己株式の取得による支出	△83	△5,326,270
配当金の支払額	△536,857	△774,695
財務活動によるキャッシュ・フロー	△516,132	△5,985,605
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,047	6,514
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	827,256	△5,333,833
現金及び現金同等物の期首残高	5,418,766	7,271,528
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,246,023	1,937,695

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年8月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式3,298,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が5,326,270千円増加し、当第2四半期会計期間末において自己株式が5,328,017千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は「法人税等」に含めて表示しております。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

①受注実績

当第2四半期連結累計期間の受注状況を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
パッケージ	2,425,058	19.1	2,326,526	△6.8
保守	904,666	12.7	2,087,911	△5.7
受託開発	—	—	—	—
運用管理等	41,828	30.7	33,327	△4.7
合計	3,371,553	17.5	4,447,765	△6.3

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. パッケージにはユーザー固有のカスタマイズを伴わないパッケージライセンスに係る受注も含んでおります。

3. 運用管理等には商品受注を含んでおります。

②販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	
	売上高(千円)	前年同期比(%)
パッケージ	2,234,956	5.4
保守	975,372	11.7
受託開発	50	△99.8
運用管理等	44,835	△28.0
合計	3,255,214	5.9

(注) 1. パッケージにはユーザー固有のカスタマイズを伴わないパッケージライセンスに係る売上も含んでおります。

2. 運用管理等には商品売上を含んでおります。